

もくじ

えび人 vol.82	2	文化会館・市民ギャラリー	10
今号の表紙	3	相談	11
「海老名市市制施行53周年記念式典」		図書館	12
「海老名文化スポーツ賞贈呈式」		子育て・HUGHUG赤ちゃん	14
神奈フィルのコンサートも	4		

**「広報えびな」の共通マークとルール**

日日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」が届きます  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



海老名の元気を表すように力強く書きました。  
 社家小学校 渋谷瑛良さん(10歳)

写真

タイトル：冬隣り  
 撮影場所：県立相模三川公園  
 撮影者：河原口在住 福井 剛さん



編集雑記

海老名市と白石市が姉妹都市となって30年が経ちました。長い年月が経てば、色々と変わってしまうことかもしれませんが、今も交流を続けていることは素晴らしいことだと思います。私も同じくらい長い付き合いの友人がいますが、久しぶりに食事に誘ってみようかなと思いました。(そ)



(写真上) 緑地わんぱく公園と緑地やすらぎ公園のごみ拾いと草刈りを定期開催  
 (写真中) 救命講習などの勉強会には多くの参加者が集まる  
 (写真下) 雨で開催判断に悩んだ思い出の納涼祭。参加者の笑顔が見られて安心した



1人1役、  
 みんなが主役に

昨年4月に誕生した「国分杉本ご近助ネット」で相談役を務める木村さん。「少子高齢化が進んで共働き世帯が増え、それぞれの生き方が変わりました。前任の自治会長を中心に検討・議論を重ねた結果、生まれたのが今の組織です」と前身の国分杉本自治会から変わった経緯を語ります。

誰も孤立することなく、無理せず楽しく続けられる活動の在り方を目指し、1人1人の負荷軽減に着目。「役員として会議を重ねた中で自分も成長できたかな。まだ改革から1年半ですが、今までと違う組織の姿が見られると、狙いが実現しつつあると実感します」。「会議はいろいろな意見が聞けるので勉強になる」と語る木村さん。少しでもできることをやり、日頃から何でも言い合える関係を築くことが大事だと考えています。

「みんなが主役になれて、助け合える組織になればそれでいい」。その表情は充実感に満ちています。

今月のえび人

木村 宏さん  
 (国分北在住・70歳)

国分杉本ご近助ネット初代リード(会長)。現在は相談役。休日は登山やサイクリングなどを楽しみ、アクティブに過ごす。「自分に正直に生きる」が Motto。